



だより



R6.6.11 Vol.10

朝のルーティン

朝、出勤して職員の動きを見ていると、それぞれが自分の持ち場へと散っていきます。事務のF先生は毎朝、真網代方面の登校指導へ。担任の先生は子供たちを迎え入れる準備をするために教室へ。養護の先生と教頭先生は玄関に入ってきた子供たちにおはようと声をかけながら子供たちの表情を見て、健康状態をチェックしています。あ！玄関前には一人芝居で子供たちを盛り上げるN先生。これが真穴小の朝のルーティンです。働き方改革の中、登下校指導は教員の仕事ではないことが指針として出ています。が、それにも関わらず、「できる範囲でやりますから」と、自主的に見守り活動に出る先生方。下校指導も然りです。手前味噌かもしれませんが、校長として、とても頼りがいのあるメンバーです。

歳取ったなあ(泣)と思うとき

- 「あれよ、あれ！あの時、あそこで見たやん！あれよ」指示語しか言葉にならないとき。
- 子供と話していて「先生！それ！前も同じこと聞いた。」と言われるとき
- 椅子から立つときに「よっこいしょ！」と思わず言ったとき
- 子供とかけっこして「校長先生、走れるんや！」と言われたとき。
- 「僕の若い頃はなあ…」というフレーズが自分の口から出たとき。
- 息子に「そんな昭和の話、通用せんけん！」と言われたとき。
- 気が付くと後ろに手を組んで廊下を歩いているとき。
- お愛想笑いされるとき…。

四方山話真穴 ver. 其の十(修学旅行に行ってきました)

1日目、平和記念公園に行きました。原爆資料館を見た子供たちに「どうやった？」と声をかけてみましたが、なかなか言葉にはできませんよね。でも、いろんなことを感じていたのではないかと思います。戦後80年近く経ちました。生き証人の方はほとんどいなくなっています。「落とす必要があったのか？」ここに来るといつも私の中では、怒りにも似た感情が渦巻きます。子供たちの心の中にも、未来へ語り継ぐ何かが残ってくれたらいいなと思います。余談ですが…夕食時、少し日焼けしたなあと思いつつ会場に行くと、「あ！校長先生！飲んでる！」「一滴も飲んでません！」いろんなことを見てますねー。怖い怖い。(あ！神に誓って飲んでません。笑)

2日目の野球観戦！ドーム内に足を入れた瞬間、身体全体に響いてくる両チームの応援の声！バックスクリーンの大きなビジョン！子供たち、圧倒されたのではないのでしょうか？初めこそ雰囲気にもまれていましたが、回が進むにつれ、声を出し、応援を楽しみ、得点が入るとスタンディングオベーション！会場と一体になって楽しんでいました！「ルールよくわからんけど楽しい！」この言葉に気持ちが集約されていますね。

3日目、子供たちが1番楽しみにしていた城島高原パーク！

敷地内を回っていると、笑顔で移動する子供たちを何度も見かけました。ジュピターの感想も様々！コーヒークップを回しすぎて酔った子もいたようです。船の中、「何が一番楽しかった？」と聞くと、「城島です！」やっぱりそうですね。

3日間通して、公共の場でのマナーや指示の聞き方、行動の仕方、とても良かったです。充実した3日間でした！お見送り、お迎えもありがとうございました！

余談の余談になりますが、出発時、引率の私たちへ保護者の方からの「お願いします。」帰着時の「お世話になりました。」というお声かけ。行きは心が引き締まりますし、帰ってきた時は、その一言で疲れが吹き飛びます。(身体の疲れは年齢には勝てませんが…笑)子供たちへも、「修学旅行が無事終わることができるのは、周りの様々な人のおかげだよ。感謝を忘れずに！」と担任が話をしていました。保護者の方からの何気ない教員への言葉がけも子供たちは見えています。ありがたいことだと感じました。